

豊岡まちづくり推進協議会 会議録 令和5年度 第3回

会議概要											
日時	令和6年3月19日（火曜日）午後6時00分から午後8時00分まで										
場所	東部まちづくりセンター コミュニティースペース										
出席者	委員（12名、正副会長以外は50音順） 高嶋会長，宇野副会長，石川委員，佐久間委員，佐々木委員，清野委員， 瀧本委員，長谷委員，本間委員，溝口委員，山崎委員，山本委員 （欠席 石坂委員，大田委員，澤田委員） オブザーバー 堀川 地域まると支援員 事務局 <table><tr><td>市民生活部</td><td>林部長</td></tr><tr><td>地域活動推進課</td><td>小松主幹 谷口補佐</td></tr><tr><td>東部まちづくりセンター</td><td>鈴木所長，高尾</td></tr></table> その他 <table><tr><td>愛宕公民館</td><td>角谷館長</td></tr><tr><td>社会教育課</td><td>小島主幹</td></tr></table>	市民生活部	林部長	地域活動推進課	小松主幹 谷口補佐	東部まちづくりセンター	鈴木所長，高尾	愛宕公民館	角谷館長	社会教育課	小島主幹
市民生活部	林部長										
地域活動推進課	小松主幹 谷口補佐										
東部まちづくりセンター	鈴木所長，高尾										
愛宕公民館	角谷館長										
社会教育課	小島主幹										
会議の公開・ 非公開	公開										
傍聴者の数	1名										
会議資料	次第										
	資料1 令和5年度豊岡地域で実施された課題解決の取組										
	資料2 豊岡まちづくり推進プログラム（改訂案）										

議事の内容

1 開会

- ・開会し，事務局の司会で，欠席者の報告及び配布資料の確認があった。

2 協議事項

事務局より前回（令和5年度第2回）の協議会の協議概要について説明があった。

(1) 豊岡地域のまちづくりの検討と推進について

ア 豊岡まちづくり推進プログラムについて

資料1及び資料2に基づき、豊岡まちづくり推進プログラムの改訂内容と今年度豊岡地域で実施された課題解決の取組について事務局から説明があった。質疑の内容は次のとおり。

【委員】

・「コロナ明け」という意識を住民が感じるようになるために、市も率先して様々な行事を実施していくべきではないか。地域では、マスクをしている人も多く、コロナ明けという印象がない。

【市民生活部長】

・市のイベント関係は、基本的には自粛しているものは無く、ひと通り再開している。マスクに関しては個人差がある。

【委員】

・豊岡地域に子ども食堂ができた。プログラムに加えられるか。

【事務局】

・実施地域を確認し、実施団体に対して掲載の可否を確認した上で、この度のプログラム改訂に加えられるか検討する。

【委員】

・豊岡・新豊岡防災会議の取組を受けて、豊岡・東光・啓明地区の地域関係団体等が集まり、次年度における防災の取組について協議をした。1つは、防災避難要支援者名簿の精査を行うこと、それをベースに地域毎の避難計画を作成する、その後、シュミレーションによる避難訓練を実施できないかという話もでている。6月にあらためて協議をし、これらの中で具体的に実施できる取組みを検討していく方向（情報提供）。

イ 豊岡地域における地域学校協働活動について

・社会教育課 小島主幹から、地域学校協働活動の概要と豊岡地域（光陽中学校区）において、地域コーディネーターを設置した、学校と地域が連携する仕組みづくりの提案について説明があった。

・委員からは特に意見は無かったので、令和6年度から、提案どおり進めていくこととなった。

3 その他

・まち協組織の在り方係る検討について、市民生活部長から挨拶があった。
・事務局から、まち協組織の在り方に関する検討のこれまでの経過と、この度の協議内容について説明があった。

【各委員からの意見】

・組織の見直しは必要。今は、何かの取組を実施するために、その都度補助金を申請している状

況であるが、市民委員会が持つ財源を有効に活用しても良いのではないかと思います。

- ・専門組織を担っている立場から考えた時に、新しいまち協組織が「なんでもできる」という考え方になると、まち協にとって進まなければならない方向が、絞りきれなくなるのではないかと感じる。

- ・様々な取組の成功体験を積み重ねることによって、組織は成長していくと思う。
- ・まち協は必要だと思う。実施している事業に参加している住民の方からも、良い取組だと喜んでもらえている。今のまち協の良いところも大事にして欲しい。
- ・将来的な人口減少が取り沙汰されている中、組織を練り直し、地域が自立できるような仕組みにしていかなければならないという考え方があるのではないか。

【市民生活部長】

- ・まち協は、地域の代表性を担保できる組織を考えている。市民委員会は、色々な組織をリードしていく存在。地域運営組織の考え方をベースにしながら豊岡にふさわしい地域を代表する組織となればよいと思っている。現在実施している事業を活かすような形を作り、各活動を活発化させることで、様々な課題を解決するために支援できるような組織としたい。

【会長】

- ・この案件は、短時間での協議は難しく、しっかり時間をかけて話し合う必要がある。
- ・現在は、市が指導して協議会がまとまっているが、今後、運営を地域に任された場合に、誰がまとめてどう組織するかが懸念される。今後もしっかり検討していく必要がある。

【事務局】

<事務連絡>

- ・令和5年度豊岡まちづくり推進協議会出席に係る謝礼の支払いについて。
- ・まち協委員改選について
- ・次回の会議日程について
- ・令和6年度事業について

3 閉会